

戦争法廃止、沖縄新基地NO！の国民的運動を発展させる大会に

**「なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2015年日本平和大会in富士山」成功へ、
参加の輪を広げましょう**

2015年9月30日 2015年日本平和大会第8回実行委員会

静岡県御殿場市で開かれる「なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2015年日本平和大会in富士山」（10月31日～11月1日）が、いよいよあと1カ月後に迫ってきました。この大会を、戦争法廃止と沖縄への新米軍基地阻止の国民的大運動を全国に広げる大会として、大きく成功させましょう。そして、日米軍事同盟（日米安保条約）をなくして憲法の輝く日本を実現する世論と運動を広げましょう。

政府・与党は9月19日、憲法の定める平和主義、立憲主義を破壊する戦争法を、国民の多数の反対の声を無視し、民主主義を踏みにじるやりかたで強行しました。私たちはこれに満身の怒りをもって抗議します。戦争法は、いつでもどこでもアメリカの戦争に自衛隊が参加する体制をつくるものです。これが発動されれば、自衛隊が海外の戦闘地域に派遣され、「殺し殺される」戦闘をくりひろげる危険が生まれます。この戦争法の発動を阻止し、一刻も早く廃止しなければなりません。

この間、戦争法案反対の国民のたたかいは、空前の規模で広がりました。青年、女性をはじめ広範な市民が、「民主主義を守れ」「憲法壊すな」と行動に立ち上がりました。この共同の輪を土台に、戦争法の廃止めざす運動がすでに始まっています。日本平和大会は、全国のこの運動を交流し前進させる大会です。

とりわけ日本平和大会は、「海外で戦争する国づくり」めざす日米軍事同盟強化の実態とそれに対するたたかいが全国各地から報告され、戦争法の危険をリアルにつかめる大会です。大会開催地にある富士演習場では、9月も米軍・自衛隊が激しい演習をくりひろげました。陸では米海兵隊155mm榴弾砲部隊が残虐兵器・白リン弾を富士山にむけて連射し、空にはオスプレイが飛び交い、海では自衛隊が強襲上陸演習を行いました。一地元では、「富士はまるで戦場だ」の声が上がるほどです。こうした実態をしっかりと見つめ、学習し、戦争法廃止の世論と運動を広げましょう。

沖縄の県民ぐるみの新基地建設反対のたたかいも、いよいよ重要な局面を迎えています。翁長知事は県民を代表し、名護市辺野古の海の埋め立て承認取り消しを表明しました。安倍政権はこれを無視し、埋め立てを強行しようとしています。沖縄県民の意思を踏みつけにし、米軍の戦争拠点建設のために自然と県民生活を破壊する——この暴挙に対し、今こそ全国的な反対運動をくりひろげていくときです。日本平和大会を、沖縄県民への連帯を大きく広げ、危険な米軍輸送機オスプレイNO！をはじめ、米軍基地強化に反対し米軍基地のない日本めざす運動を発展させる大会にしていきましょう。

そして、軍事同盟をなくしてこそ憲法の生きる平和な日本とアジアを実現できることを明らかにし、その展望をひらく大会にしていきましょう。

この大会に、全国の地域・職場・学園から、青年はじめ多数の参加者を送り出し、学び、交流し、平和と憲法を守る草の根の力を広げましょう。